梅の実いっぱい！

地域の人と梅の収穫

5月31日(火)、山郷保育園の3～5歳児と笠間保育園の3歳児が、山郷保育園の敷地にある梅の木から梅の実を収穫しました。10年ほど前から、地域ボランティアの水谷貞雄さんが枝切りや周辺の草刈りなどの手入れをしてくれています。今年は3年ぶりに実がなり、園児たちは初めての収穫。保育士が竹を使って枝を揺らし、落ちてきた実を拾いました。「先生、こっちも落として！」「もっととりたい！」とみんなでワイワイ楽しみながら、買い物かご3杯分も採れました。梅ジュースにしていただくそうです。

1. 木に登って、隠れた場所の梅の実も残らず収穫
2. 傘を使って落ちてきた梅の実を上手にキャッチ！
3. 「見て～！」いっぱい採れてにっこり

バドミントン部を指導し、自身も教員男子の部で国体出場の経験を持つ

瑞宝小綬章を受章

いなべ総合学園高等学校校長などを歴任

春の叙勲が発表され、藤原町長尾在住の西城博さんが受章されました。昭和47年から県内の高等学校で書道と国語の教員を勤めた西城さんは、県教育委員会で教職員人事をはじめ、学校防災や健康教育の推進など、多岐にわたって教育行政に尽力されました。今回の受章について「学校や教育行政など、さまざまな経験ができました。生徒や周りの人にも恵まれました」と話していました。

卒業生から今も「先生！」と声をかけられるとうれしいと話す川瀬さん

瑞宝双光章を受章

市の教育行政に尽力されました

春の叙勲が発表され、北勢町畑毛在住の川瀬正幸さんが受章されました。川瀬さんは、市内小学校で校長を歴任した後、市教育委員長を6年間務め、藤原町の小学校統合や小中一貫教育を進めるなど、市の教育行政に尽力されました。「十社小学校創立100周年記念行事では、地域の歴史を知ることができました。受章は、皆さんのおかげです。今の教育現場で働く人にとって、働きやすい環境を願っています」と話していました。

1. 里中さんからネコギギの生態を学ぶ 2. 定規をあてて大きさを測定

天然記念物ネコギギ

いなべのシンボル、ネコギギを知ろう

6月7日（火）、十社小学校で飼育しているネコギギの身体測定がありました。市では20年前から志摩マリンランドと協力してネコギギの保護と繁殖の活動に取り組んでいます。ネコギギは夜行性で普段水槽の中で隠れているため、5年生の児童は、初めて間近で見ることができました。志摩マリンランド元館長の里中知之さんは、「地元のシンボルのネコギギを知って好きになってもらいたい」と話していました。

JALの仕事に関するクイズの回答を相談する生徒たち

客室乗務員を知ろう

JALふるさと応援隊に学ぶ

6月10日(金)、員弁中学校2年生が、JALふるさと応援隊の鶴森さんと岩田さんによる「客室乗務員お仕事講演」を聴きました。県内には空港がなく、客室乗務員の仕事を知る機会が少ない生徒たちは興味津々。客室乗務員を目指したきっかけや、一日の仕事の流れなどをクイズを交えて楽しく学びました。鶴森さんは、「講演を通して視野を広げ、県外、海外で活躍するきっかけになってほしい」と話していました。

各団体のブースに立てられたのぼりには、SDGsの目標が印字された

スマイルフェスタ開催

3年ぶりに開催された交流会

6月18日(土)、19日(日)に北勢市民会館で「2022スマイルフェスタ in いなべ」が開催されました。これは、市内の市民活動団体やボランティア団体の活動紹介と交流を図る催しです。18日(土)は各団体のブースで活動紹介や体験があり、熱心に話を聞く来場者の姿も。19日（日）は舞台発表が行われました。来場した川瀬大地さんは「地元で、いろんな活動があることを知ることができた」と話していました。

左から、水谷倉之典選手、安藤司希選手、太田来望選手

剣道で全国大会へ！

北勢地域で49年続く員弁剣友会が快挙

6月16日（木）、日本武道館で開催される第56回全国道場少年剣道大会へ出場を決めた「員弁剣友会」の選手3人と監督が市長に出場報告をしました。4月に行われた県大会でベスト8に入り、全国大会出場を決めました。大将を務める太田選手は「道場の端から端まで打ち込む練習がつらかったけど、頑張ってきた。大会では、チームを引っ張り、全力を出したい」と全国大会へ意気込んでいました。